

# 国土交通省「交通空白」解消・ 官民連携プラットフォームについて

---

物流・自動車局  
令和6年12月

# 「交通空白」解消・官民連携プラットフォームの発足（令和6年11月25日）

## ▶ 目的

「交通空白」に係るお困りごとを抱える自治体、交通事業者と、様々な資源を持つ幅広い分野の企業・団体群の連携・協働体制を構築し、「交通空白」解消に向けて、「地域の足」・「観光の足」を確保するため、実効性かつ持続可能性のある取組を全国規模で推進する。

第2回 国土交通省「交通空白」解消本部 大臣発言（令和6年9月4日）抄

年内のできるだけ早い時期に、例えば配車アプリやデータ活用などの技術やサービスを有する企業など、交通空白の解消に意欲と関心を持つ幅広い分野の民間企業などの参画を得て、官民連携プラットフォームを立ち上げてください。

## ▶ プラットフォーム会員

- 「交通空白」に係るお困りごとの解決に向け、幅広い分野の関係者との連携・協働に高い意欲をもつ自治体や交通事業者
- 全国各地の「交通空白」の解消に向け、自らが抱える人材・技術・サービス・ネットワークなどを活用した貢献に高い意欲を持つ企業または団体※ 等

※インバウンド、若者、女性、障がいをお持ちの方等の視点からの取組にも留意

## ▶ 主な取組

### 1 課題×ソリューションの マッチング

お困りごとを抱える自治体や交通事業者と、技術、サービス等のソリューションを持つパートナー企業との連携・協働を後押し

### 2 空白解消に向けた パイロットプロジェクト

全国共通のお困りごとについて、全国規模での解決を目指し、自治体、参加企業等が連携・協働して取り組む実証事業を展開

### 3 空白解消に向けた ナレッジの共有

交通空白にかかるナレッジの共有や、タクシー、乗合タクシー、公共/日本版ライドシェア等の活用促進に向けたセミナー等を実施

分野	事業者名	
	企業	団体
デジタル /モビリティ	運行・配車管理： 日野自動車、電腦交通、ダイハツ工業、 Will Smart、プレミア・ブライコネクト 配車アプリ： GO、オムロンソーシアルソリューションズ、 パブリックテクノロジーズ AIオンデマンド： アイシン、Community Mobility、未来シェア、 ネクスト・モビリティ、順風路、Via Mobility Japan、 SWAT Mobility Japan、Willer、バイタルリード、JCOM、REA データ活用： MaaS Tech Japan、NTTデータ、 東芝インフラシステムズ、KDDI その他： NearMe、RYDE、ソーシャルムーバー、トヨタ・モビリティ基金、 博報堂、トヨタモビリティサービス、三井化学	暮らしの足をみんなで考える全国フォーラム、日本自動車連盟、 全国移動サービスネットワーク
モビリティハブ	パーク24 (タイムズモビリティ)、トヨタ自動車、オリックス自動車、Luup、 Lime、BRJ、ドコモ・バイクシェア、OpenStreet、大日本印刷、エムシー ドゥコー	全国レンタカー協会、 マイクロモビリティ推進協議会、 日本シェアサイクル協会
エネルギー	九州電力、四国電力、ENEOS	
商業・農業	イオン、LAWSON、三菱商事	全国農業協同組合中央会、 全国農業協同組合連合会 全国商工会連合会、日本商工会議所
金融・保険	日本政策投資銀行、三菱UFJ信託銀行、みずほ銀行、三井住友銀行 東京海上日動、損保ジャパン、三井住友海上	
福祉	全国社会福祉協議会	
教育	全国都道府県教育委員会連合会、 全国市町村教育委員会連合会	

分野	事業者名	
	企業	団体
観光	JTB、ぐるなび	日本観光振興協会、日本ホテル協会、全日本ホテル連盟、日本旅館協会、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会
宅配・貨物	日本郵便、ヤマト運輸、佐川急便	
バス・タクシー	十勝バス、神奈川中央交通、名鉄バス、三重交通、阪急バス、広島電鉄、伊予鉄バス、西日本鉄道、日本交通、明星自動車、北星交通、飛鳥交通、昭栄自動車、神奈川都市交通、太陽交通、つばめ自動車、滋賀タクシー、日本タクシー、都タクシー、宝塚かもめタクシー、渡部タクシー、第一交通産業、元船光タクシー	全国ハイヤー・タクシー連合会、日本バス協会
鉄道・航空・海運	JR北海道、JR東日本、JR東海、JR西日本、JR四国、JR九州、ANA、JAL	日本民営鉄道協会、定期航空協会、全国空港事業者協会、日本旅客船協会、日本外航客船協会、日本国際クルーズ協議会、全国クルーズ活性化会議
地方自治体	各都道府県、全国知事会 活力ある地方を創る首長の会（自治体会員：341） 全国自治体ライドシェア連絡協議会（自治体会員：150）	
関係省庁	内閣官房（新しい地方経済・生活環境創生本部事務局）、内閣府（地方創生推進事務局）、警察庁、こども家庭庁、デジタル庁、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、金融庁	

- 当日（11/25）は企業・団体・都道府県・関係省庁等から計500名超（対面約200名、オンライン約300名以上）が参加。
- 中野大臣は、「『交通空白』解消本部の本部長として、私自らが先頭にたって、この「交通空白」の解消に取り組んでまいりたい」「若者や女性をはじめ誰もが次代に渡って活躍できる地方、そして日本社会の実現に向け、私も頑張って参ります」と発言。

日時：令和6年11月25日（月）11:00～12:30  
 於：中央合同庁舎3号館10階 共用会議室



▲中野大臣の挨拶



▲中野大臣・古川副大臣・高見政務官が出席



▲平井 鳥取県知事による講演



▲会場の様子

プログラム	講演者 (敬称略)
1. 開会挨拶	国土交通大臣 中野 洋昌 (国土交通省「交通空白」解消本部・本部長)
2. 有識者アドバイザー紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京大学特任教授 中村 文彦</li> <li>○名古屋大学教授 加藤 博和</li> <li>○福島大学/前橋工科大学教授 吉田 樹</li> <li>○呉工業高等専門学校教授 神田 佑亮</li> </ul>
3. 主旨説明	国土交通省 公共交通政策審議官 池光 崇
4. 「交通空白」解消に向けた取組と課題	
(1) 自治体による取組と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鳥取県 知事 平井 伸治</li> <li>○全国自治体ライドシェア連絡協議会 共同代表 樋渡 啓祐</li> </ul>
(2) 交通事業者による取組と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一交通産業株式会社 代表取締役社長 田中 亮一郎</li> <li>○十勝バス株式会社 代表取締役社長 野村 文吾</li> </ul>
(3) パートナー企業等からの提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東日本旅客鉄道株式会社 執行役員マーケティング本部副部長 竹島 博行</li> <li>○イオン株式会社 執行役員副社長 渡邊 廣之</li> <li>○三菱UFJ信託銀行株式会社 執行役員 小関 憲一</li> <li>○日野自動車株式会社 取締役・専務役員 日本事業COO 佐藤 直樹</li> <li>○株式会社電脳交通 代表取締役社長 近藤 洋祐</li> <li>○三菱商事株式会社 モビリティグループ モビリティサービス本部長 小糸 栄偉知</li> </ul>

# 「交通空白」解消・プラットフォーム会員の公募



**本気の自治体・企業等を  
募集しています！**

**(公募：11月25日～令和7年1月24日)**



※国土交通省「『交通空白』解消本部」特設ページに、プラットフォーム会員の応募方法・応募様式等を掲載しています。  
[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000237.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000237.html)

## お困りごとを抱える自治体・交通事業者等（例）

- 具体的なお困りごと直面しており、一刻もはやく解決したい。
- みずから考え、みずから実践するにあたり、企業等との連携・協働を模索したい。
- × 単なる情報収集が目的
- × 補助金を受けることだけが目的
- × みずから実践することを放棄し、ソリューション企業に丸投げする

**△首長や社長等の一筆を添えてください**

## 空白解消に貢献するパートナー企業等（例）

- 交通空白の解消に係る知見と具体的なソリューションを有する
- お困りごとに対して、地域に伴走しながら、前向きな提案と実行ができる
- × 単なる宣伝や情報収集が目的
- × プレゼンだけが得意。視察して終わり。
- × 地域の実情を踏まえず、他地域の有名事例を押し付け。

**△貢献事項のPR資料を添えてください**